



## 2017年夏の一齐行動週間 寄せられた取組・意見

事業所数	49	事業所
取組人数	4,908	人
ノーマイカー	6,329	回
ライトダウン	14,200	回
冷蔵庫内の整理整頓	4,894	台
日よけ	4,588	所

前号に続いて取り組みのあった事業所から寄せられた取組・意見、「！」と感じたものを紹介します。まだまだ、仮集約ですが多くの事業所での多くの取り組みが展開されました。あらためて、ご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

### ノーマイカー

- 一齐行動週間中、電動自転車からノーマル自転車に乗り換えた。
- 職場の上司と相乗り通勤した。
- 東京支店管轄の現場においても通勤に相乗りを実施した。
- ノーマイカーの取組をしたいが、電車・バスの運行時間が合わない。
- 歩道が整備されていない場所が多く、徒歩や自転車通勤が困難。

### ライトダウン

- 「竹宵まつり」に子どもたちも含め家族で参加、感激して帰りました。是非続け感動を発信してください。
- 100万人のキャンドルナイトのりんご並木に初めて行きました。竹宵の大掛かりなものも見てたえがあり、ステージの演奏等、落ち着いた雰囲気でも過ごせました。
- キャンドルナイトで購入した蜜燭キャンドルをお風呂場、キッチンに置き電気を消し過ごしました。
- 夜は、ろうそくで過ごしました。
- 睡眠1時間前から照明を暗く。
- ライトダウンでも通常通り生活はできました。今後も心がけます。
- 夜する作業を朝早く起きて作業。
- 夜7時まで電気をつけない。
- 寝る時に小さな電気をつけていたのを消して寝るようにした。
- 期間中に登山、山小屋に泊まり電気のない究極のライトダウン。
- キャンプに出掛け自然に触れ合う。
- 自宅では全光照明を用いる部屋を一部屋として、手元灯(タスクライト)を中心とした生活に。
- 当直でしたので、ラウンド時に、院内の不要な照明を消しました。

## 取組項目以外の取組も 省エネの生活を楽しむ…

### 冷蔵庫内の整理整頓

- 冷蔵庫内の賞味期限切れ食品の整理を一段と進め、食品収納場所やスペースの工夫も行った。
- 土曜日に冷蔵庫内が少なくなったので、全て洗浄しました。
- 冷凍室は隙間を詰める、開けたらすぐ閉めることを家族に説明した。
- パンを購入するとき直ぐに食べる予定だったので賞味期限が一番近いものを購入しました。
- すぐに食べる食品は消費期限の近いものを購入する。
- スーパーで賞味(消費)期限の早い日付のものを買う「エコ買い」実施。
- 冷蔵庫の上にあったキッチンペーパーやティッシュBOXを片付けた。
- にんじん、大根等は皮ごと使用。
- キャベツの堅い葉はスープ、味噌汁等で煮込んで使用する等なるべく食材の無駄がでないように。
- 野菜は余すところなく料理する。
- 外の小型冷蔵庫の電源を抜いた。

### 日よけ

- 今回の一齐行動をきっかけに遮光カーテンを購入しました。
- 西日の当たる窓ガラスに遮光フィルムを貼った。
- 部屋の模様替え等をし不用品を捨て涼しく感じられるようにした。
- 車の日よけとして後部の座席に輻射熱防止シート装着した。

### その他の取り組み

- 再利用できる金属製のコーヒーフィルターを使っている。
- 食器・鍋類の油污れ落としに、使用済み麦茶パックで落としてから洗剤で洗い流す。
- 風呂湯量を80%にて入浴。
- 夏は節水を兼ね風呂の水を半分以下にし半身浴を行っている。
- 会社では昨年からのゴミ分別及び集積倉庫を設置した。また大幅な有機(金属類)処分を実施した。
- 廃家電をネットオークションに出品しリユースしている。
- 夏は靴下の短いものをはく。
- 家庭の年間を通じたエネルギー使用量も確認している。
- 2種類の料理を一つのフライパンで作る(目玉焼き+ウィンナー等)。
- ドライヤーをHOTからCOOLにした。
- 土、日曜日はだらだらとTVをつけることが多いが見たい番組以外は消す努力をした。

## 環境一齐行動週間への意見 一部ながら確実な定着が

### 一齐行動への意見など

- 社員も環境について考える良い機会となったようです。
- 今回実施できなかった活動について次回は何とか実施したい。
- 特にライトダウン、冷蔵庫内の整理は今回の活動をきっかけに取り組んだ人も多い。普段は気づきにくいので、良い活動です。
- 活動の名称が「環境」活動であるとぴんと来ないため、「環境」の文字を入れたらどうでしょうか。
- 全エネルギー消費の内訳は日常の直接の消費ではない、インフラ(エネルギーの供給とその使用を可能にする設備…建築物を含む器の部分)で70%を占めていますが、それらに関する省エネの取組についての情報は、ほとんど見たことがありません。一般への省エネ推進を呼びかけるなら、これらの実績報告もすべき…。
- 社内の環境月間への取組みとして、一齐行動のほか温水停止や暖房便座の停止、市役所提供のアサガオの種の配布、県で募集している環境標語の応募を実施。

ある事業所からの報告に「ゴミ減量化のため不要紙を利用しエコバッグを作って使用している。」というのがあり、そのエコバッグの画像を送っていただきました。



一齐行動の報告を受け集約していると、まだまだ一部の事業所に限られた取り組みながら地域内で確実に定着していると感じます。この取り組みを発展させるためにどうすればいいか検討していきます。研究会主催のISO 14001: 2015の「その意図と要求事項」の内部監査員の研修は今週6日と7日。約150人の参加申込がありました。これもひとつの環境文化といえるでしょう。

【ご意見、お問合せ】、【配信解除】  
福岡健志(多摩川精機株) 研究会事務局  
[takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp)  
小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局  
[kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp)



## 研究会主催内部監査員研修 規格改訂の「意図と要求事項」



地域ぐるみ環境ISO研究会が主催した環境内部監査員の研修、ISO 14001: 2015「その意図と要求事項」が先週6日(木)と7日(金)、飯田市役所の会議室でありました。

参加者は6日午後が93人、7日午前が55人、研究会参加事業所や地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」に取り組んでいる事業所の担当者や内部監査員です。講師は、これまでも市役所や研究会の研修を引き受けていただいている総合マネジメントシステム研究所の中村孝一さん。参加者は渡された分厚い研修テキストに圧倒されながらも、4時間余の講義を熱心に最後まで聴いていました。



環境マネジメントシステムの国際規格ISO 14001が2015年9月15日に改訂となり、3年以内に移行の手続きを経ることになっています。新規格への移行の条件には新規格要求事項のもと内部監査とマネジメントレビューの実施があり新規格の研修を内部監査員も受けなければなりません。重要な研修でした。

「その意図と要求事項」とのタイトルが示すように研修はISO 14001: 2015規格改訂の意図と要求事項を規格の序文、適用範囲、用語及び定義について、じっくり、ISO規格の本文や規格の利用手引きとしての附属書、さらに実施の一般指針であるISO 14004、品質規格の説明を加えて、進められました。

## 2015年版規格での養成 飯田市役所の内部監査へ参加を

2日間で約150人という規模、その多さは会場設営や片付けでも感じました。また、A4両面印刷で53枚の研修テキストを150部印刷する際にも感じました。予約制の印刷機、終了までの予定時間60分以上がずっと表示されたままで、予想以上に時間を要し焦りました。



中村講師による修了証書は2日とも申込が一番早かった参加者に代表して読み上げ渡されました。ボリュームある研修テキスト、研修でその見方や使い方を学んだので、それぞれがシステム構築や運用で悩んだり疑問点に対応するときにずいぶん力になり役立ちそうです。



**飯田市役所の内部監査  
2015年版対応システム**

- ★各課や施設を対象  
7月20日～8月18日  
2時間(負荷大4時間)
- ★事務局を対象  
8月31日(木)  
9:00～17:00

<http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujouhou/management-system.html>

飯田市役所が運用している環境マネジメントシステムはISO 14001の規格への適合を2003年1月23日に認証登録から「自己適合宣言」へと移行しています。相互内部も「相互内部監査」としてシステムの透明性・客観性を担保する目的で地域内外の事業所、自治体等組織外から内部監査員を多く受け入れています。

29年度の監査日程が決まりました。多くの皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは市のホームページで。

## 「南信州いいむす21」取組事業所 飯田 OIDE 長姫高校へ訪問支援

現在、「南信州いいむす21」登録事業所は49事業所です。そのうち、研究会参加事業所、1年以内に更新審査を終えた事業所、更新審査を予定している事業所などを除き、約半分の25事業所に対し、この時期に訪問・支援を実施しています。



飯田 OIDE 長姫高等学校へは、研究会参加事業所実務者が2人で出かけました。高校では各クラスから選出された「ISO委員会」が中心となり、ISO新聞の発行や清掃などの活動を通して「南信州いいむす21」に取り組んでいます。

ISO委員会の委員長は、毎年3年生のISO委員の中から選任されるので委員長は毎年交替するという特徴があります。事業所に例えると事業者の代表者が毎年毎年、変わるようなものです。長い期間を見据えた活動が難しい反面、常に新しい視点で活動が行えるという長所もあります。この長所を生かすために重要な「記録」です。

記録がなければ常に「0」からのスタートですが、記録があることで過去の活動の上にレベルアップしていくことができます。「記録」は、客観的で誰が読んでも判りやすいことが大切です。この「誰が読んでも判りやすいこと」、社会人になってからも手順書や資料を作る際、社会人の私たち一人ひとりにもいえることではないでしょうか。今回の訪問支援を通して改めて感じました。

これから社会で活躍する飯田 OIDE 長姫高等学校の皆さんにとって、「南信州いいむす21」がマネジメントシステムに接する良い機会となり、活動がさらに飛躍することを期待しています。研究会としても訪問・支援のあり方を研究していきます。

【ご意見、お問合せ】、【問い合わせ先】  
福岡健志(多摩川精機株式会社) 研究会事務局  
[takeshi-fukuoka@tanagawa-seiki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@tanagawa-seiki.co.jp)  
小林梅昭(飯田市役所) 研究会事務局  
[kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp)



## 研究会主催 省エネセミナー 「中小企業で役立つ省エネ」



「省エネセミナー」が7月26日(水)午後3時から質疑も含めて約100分、飯田市役所の3階会議室でありました。主催は、地域ぐるみ環境ISO研究会、講師は大西氏、省エネルギーセンターから派遣していただいたエネルギー使用合理化専門員でした。参加者は事業所の業種や規模も立場も様々な34人。

研究会が参加を呼びかけたチラシには「中小企業で役立つ省エネ」とテーマを掲げました。当日の説明資料のタイトルは「どう省エネの進め方と無料診断事例」。説明での用語もかなり専門的なものが多く工場などのエネルギーの担当者でないと理解は難しいと感じました。

そもそもセミナーに参加者した34人が抱えている「省エネ」の定義・イメージに大きな差があったのではないかと心配しています。しかし、約半数から回収したアンケートは資料の分かりやすさ・説明の分かりやすさ・役立ち度・全体への評価が4段階評価の上から2番目がほとんど。アンケートを出さなかった人の評価をマイナスなものと考えると理解・不理解は半々なのかと。

参加者の所属等を情報で知っていて会場の後ろから全体を見るとあらためて「省エネ」とひと括りにした研修の設定の難しさを痛感。「中小企業」の表現も誤解を生んでいたようにも感じます。「中小企業」「小規模企業者」も定義は業種により資本金や従業員に違いがあります。経済産業省の資源エネルギー庁のホームページで「省エネって何?」を見つけました。省エネとは「省エネルギー」の略、石油や石炭、天然ガスなど、限りあるエネルギーがなくなってしまうことを防ぐため、エネルギーを効率よく使うことをいいます。と、これまた一般的な説明。

業種・規模をもっと絞り込んだ「省エネ」、そして何を対象に何を意図しているのか、具体的な定義と説明が必要であること学びました。

## 「南信州いいむす21」3事業所に 広域連合長から登録証の交付

地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の登録証交付式が7月20日(木)午前11時から飯田市役所の市長室でありました。研究会が事業所へ訪問し報告した審査結果は、南信州広域連合会議において適合かの判定がなされ登録証の交付となります。広域連合長である飯田市長から3事業所に対して交付がありました。

(有)北原土木は上級から「ISO 14001 南信州宣言」へステップアップになりました。「南信州いいむす21」はじめ、その事業所が環境改善活動に取り組む理由は様々です。(有)北原土木は「ISO 14001 南信州宣言」への挑戦を総合評価入札における加点だと明確に位置づけています。そして、この登録によって活動を緩めることなく今後さらに強化すると挨拶で述べていました。



「ISO 14001 南信州宣言」の登録事業所は、これで5事業所となりました。うち4事業所が建設業で「南信州いいむす21」の存在意義がこれだけでもあると言えるでしょう。

飯田広域消防本部は中級の更新、飯田環境センターは初級の更新、どちらも南信州広域連合としての一部事務組合の行政の組織です。とくに飯田環境センターは構成の市町村から搬入される、し尿などの処理施設です。環境への負荷から、いつまでも初級に止まることなくステップアップすべき施設であることは言うまでもありません。

初級から中級へ、上級へ、そして最終的に「ISO 14001 南信州宣言」への上へ上へのステップアップがなかなか進まないのも「南信州いいむす21」の大きな課題と考えます。



## 研究会「実務者会」 「南信州いいむす21」PJT 設置

研究会には事業所代表者全体・実務者会という全ての参加事業所を参加対象とする会議が2つあります。7月20日(木)午後3時半から飯田市役所で実務者会が開かれました。

最初の議題が「南信州いいむす21」プロジェクトの発足でした。その目的は「南信州いいむす21」の2015年版改訂の仕組みの構築です。来年5月頃の改訂版リリースに向け、8月に発足・検討開始というスケジュールでメンバーは14人です。研究会の事務局に3人の実務者、広域連合事務局1人を加えました。

「気候変動」という大きな課題を目の前にして、どうせ自分ひとりが何かしても変わらないだろうと諦めてしまうことを「合理的無知」と呼ぶそうです。いま世界で必要なのは、私たち一人ひとりがこの「合理的無知」から脱し、私たちにできることをいま始めることです。

飯田市には、「21いいだ環境プラン」や「飯田市環境基本計画」というビジョンがあるのをご存知でしょうか。そして、それらのビジョンを自分自身のこととして捉えられている人はどれくらいいるのでしょうか。

今回改訂する「南信州いいむす21」では、そんな行政施策と地域を結ぶ「地域ぐるみ」の役割の一端を担えるような仕組みも少しでも盛り込めれば良いと考えています。



飯田市役所が運用している「ISO 14001 自己適合宣言」の内部監査は「相互内部監査」として、組織外から内部監査員を受け入れています。現時点で、組織外からのべ34人、うち30人が研究会参加事業所からです。内部監査の見学・研修という意味でのオブザーバーの参加も心からお待ちしています。システムの検証には多くの視点が必要となります。

【ご意見、お問合せ】、【問い合わせ先】

福岡健志(多摩) | 精機機 研究会事務局

[takeshi-fukuoka@tamagawa-sei-ki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@tamagawa-sei-ki.co.jp)

小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局

[kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp)



## 飯田市役所の相互内部監査に 研究会の仲間として参加



【国県リニア事業課の内部監査】

7月20日から63課等を対象に行われてきました飯田市役所「ISO14001 自己適合宣言」の「相互内部監査」は今週の4課と8月31日の事務局監査を残すのみとなりました。研究会から今週の4課にも4人が、事務局には2人が参加予定です。

この「相互内部監査」は組織の外から内部監査員やオブザーバーを受け入れて、運用するシステムの透明性と客観性をより高めようとするものです。事前の準備も必要でしょうから参加も大変です。

8人ずつの内部監査員による8つの内部監査チームが任命され、2人の担当チームで被監査課等の日程を確定し、それぞれ準備を進めます。被監査課等に向向いて内部監査を行い、監査報告書にまとめ指摘したものの是正の状況を確認します。



【庁舎管理・エネルギー管理を担当する総務文書課の内部監査】



【工業課の内部監査】



【合併した旧町村単位にある自治振興センター(県)の内部監査】

## 様々な組織・団体との事業連携 緑のカーテンの報告も

研究会は地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の運用支援・審査や一斉行動、独自の研修会やセミナーを行っています。しかし独自の事業は限られていますので、研究会参加事業所が行う事業や他の団体等が行う事業にも連携し協力しています。



【長野県環境保全協会のHP】

とりわけ長野県環境保全協会は研究会が行う事業の多くに協賛・支援してくれる大切なパートナーといえます。飯田支部のメンバーと研究会のメンバーは異なりますがそれぞれの活動を支えています。いくつかの団体の活動を紹介します。



長野県地球温暖化防止活動推進センターのホームページです。「みどりのカーテンの写真を募集します」とありました。早速、飯田市役所の報告をしたところ、ホームページに掲載されています。皆さんの職場で家で取り組んでいる「緑のカーテン」の写真を長野県地球温暖化防止活動推進センターに報告してみませんか。

今年、研究会がアサガオの種をプレゼントし、2017夏の「一斉行動(6月1日～7日)」の取組内容にも「日よけ」を呼びかけました。51の事業所、5,399人のその取組報告に「日よけ」として4,704か所もの実施報告があり「緑のカーテン」の取組も多くなりました。配布したアサガオの種がどんな「緑のカーテン」になっているか知りたいものです。ぜひ推進センターに報告を。

## 改正FIT法のセミナー 研究会独自の事業だけでなく



【自然エネルギー信州ネットのHP】



2017年8月25日(金) 15～17時  
飯田合同庁舎 講堂 ほかで

「自然エネルギーネット信州」が行う「太陽光発電保守点検事業者等向けセミナー」です。改正されたFIT法(再生可能エネルギー特別措置法)とJIS規格の説明会です。内容は、これからの再生可能エネルギーのビジョン、今回のFIT法改正の目的と要点、改正FIT法で必要とされる保守管理の内容など。

「自然エネルギーネット信州」は、自然エネルギー資源が豊富な信州ならではの「自然エネルギー普及モデル」をつくることを目的に2011年7月に設立されました。市民個人・市民団体、地域企業、大学等と行政機関による協働ネットワーク。

今週18日(金)に「南信州いいむす21」プロジェクト第1回会議が開催されます。今回は、「改訂版いいむす21」をどのような仕組みにするか、方向性の協議から始めていきます。

2001年10月から運用を開始した「南信州いいむす21」の取組の中で様々な課題が見えてきました。仕組みの詳細は14人のメンバーのプロジェクト会議でこれから検討し決めていきますがこれらの課題についても検討していく予定です。

【ご意見、お問合せ】、【配信解除】  
福岡健志(多摩川精機株式会社) 研究会事務局  
[takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp)  
小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局  
[kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp)



## 「南信州いいむす21」プロジェクト会議スタート



「南信州いいむす21」プロジェクト第1回会議が8月18日(金)に飯田市役所で開催されました。ちょうど夏休み期間中ということもあって14人のメンバーのうち参加は8人。夏休みにも関わらず参加してくれたメンバーもいて熱心に検討も進み方向性も出すことができました。

- 1 「ISO 14001 南信州宣言」と「上級・中級・初級」は明確に仕組みを分けて構築する。
  - ・「ISO 14001 南信州宣言」はISO 14001 規格要求に基き「上級・中級・初級」は仕組みよりテーマ別の活動を重視する。
- 2 「ISO 14001 南信州宣言」に新たに次の要件2つを加える。
  - ① 事業所自身が仕組みとして自己適合を宣言する。
  - ② 研究会の加事業所が行う相互内部監査へ参加する。
- 3 現在の「上級・中級・初級」のようにクラス分けせず実施した活動のポイント(点数)を評価する仕組みとする。
- 4 「上級・中級・初級」で取り組むテーマは従来の「環境」にとらわれずに「健康」「地域活性化」等と幅を拡げる。
- 5 「南信州いいむす21」の必須要求事項の候補として次が…
  - ・ 何のために取り組むか。
  - ・ 具体的な活動は何か。
  - ・ 関係する法律を守る。
  - ・ 活動を評価し代表へ報告する。
  - ・ 代表から次の活動を指示する。

このプロジェクトは国際規格ISO 14001 規格の2015年版改訂を受け地域独自の「南信州いいむす21」の仕組みを構築するのが目的です。これからの月1回ペースの開催での検討によって仕組みを少しずつ固めていくことになります。次回のプロジェクト第1回会議は9月22日(金)。メンバーには宿題も出されていて、熱く進むでしょう。

## 早稲田大学の松岡教授一行 研究会参加事業所を調査

昨年12月13日に飯田人形劇場で行われた研究会設立20周年の記念式典においても外部からの検証として関わってくれた早稲田大学の松岡教授ら一行9人が8月29日～30日に飯田を訪れ研究会参加事業所などインタビュー調査を行いました。



【飯田市役所のインタビュー】



【多摩川精機株のインタビュー】



【南信州広域連合のインタビュー】



【中部電力株のインタビュー】

今回の訪問は「環境イノベーションの社会的受容性と持続可能な都市の形成」に関する調査研究です。上の写真の4つのインタビュー先のほかオムロンオートモーティブエレクトロニクス株、おひさま進歩エネルギー株、南信州・飯田産業センター、飯田信用金庫の8事業所が対象でした。それぞれのインタビュー内容は異なりますが、「地域ぐるみ環境ISO研究会」との関わり、脱酸素や再生可能エネルギーの取り組み、航空宇宙産業の取り組みといったものでした。調査の受け入れを自分たちの活動を振り返って課題等を整理する機会としたいものです。

## 飯田市役所2015 規格対応システム検証「相互内部監査」



「自己適合宣言」で運用する飯田市役所の環境内部監査は7月後半から始まり、その締めとして8月31日(木)に事務局監査が9時から17時まで終日7時間行われました。飯田市役所内部監査は客観性や公平性を確保するため組織の外部から内部監査員やオブザーバーを受け入れて行う「相互内部監査」です。事務局監査にも研究会参加事業所から2人、所沢市役所から1人が参加、今年は21課等に外部からのべ31人もの方が参加してくれました。



環境マネジメントシステムと統合した行政評価システムの帳票が固まらずギリギリまで調整してスタートさせた第30版の環境マニュアル、現行のシステム、様々な視点からの指摘で漏れや不備やら改正すべき点が数多く出されて冷や汗ものでした。環境マニュアルの改正も大変です。出向く側も受け入れる側も組織内部の監査員とは違う準備も必要ですし何より緊張感があります。内部の人間の視点では気づかない指摘という大きな効果もあります。「ISO 14001 南信州宣言」に要件として加えられることが検討されている「相互内部監査」。今年は市役所以外の2つの事業所でも事務局の内部監査で行われて文字どおり「相互」の文化となってきています。研究会の仲間とのこうした交流を互いにもっと高め合う活動に結びつけたいと感じた1日でした。

【ご意見、お問合せ】、【西川解説】  
福岡健志(多摩川精機株) 研究会事務局  
[takeshi-fukuoka@tamagawa-seiki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@tamagawa-seiki.co.jp)  
小林樹敏(飯田市役所) 研究会事務局  
[kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp)



## 「南信州いいむす21」 取組事業所への訪問支援



地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」を運用し南信州広域連合に登録されている事業所は現在、49事業所です。その内訳は、ISO 14001 南信州宣言 5、上級 6、中級 15、初級 23 です。

南信州広域連合は、1999年4月1日に設立され、現在の構成市町村は、1市3町10村です。飯田市、松川町・高森町・阿南町、阿智村・平谷村・根羽村・下條村・栗木村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村。

「南信州いいむす21」の運用における南信州広域連合の役割は、取組宣言書や登録審査申込の受付、地域ぐるみ環境ISO研究会による登録審査の結果報告を受け登録の判定、登録証の発行となっています。

研究会は「南信州いいむす21」有効期間3年に1度、登録審査に事業所を訪問するだけでなく、年に1度、運用支援に事業所を分担して訪問しています。更新審査が最近実施され、実施される予定の事業所などを除き26の事業所を訪問することができました。6月から9月までと全てを終えるのに時間はかかってしまったのが反省されます。その報告書には訪問者による「評価する良い点」「改善すべき点」「システムへの要望」「所感」があります。その「システムへの要望」「所感」からいくつかを紹介します。



## 取組事業所から出された 「システムへの要望」



- 1 他社の環境活動を知りたい、他社のうまくいっている事例を情報展開いただくなど、情報交換できるような場を設けてほしい。
- 2 南信州いいむす21のシステムの見直しに当たっては、取組みへのハードルが上がらない改定となるように配慮してほしい。
- 3 目標の立て方の参考事例など蓄積されたデータを活用し、取組事業所間で水平展開をはかれるようにしてほしい。
- 4 活動や取組みの中での困り事や疑問点などを、南信州いいむす21の事務局と気軽に相談できる機会がほしい。
- 5 訪問支援は継続してほしい。
- 6 他事業所の取組み目標や取組み内容が、ホームページで閲覧できるようにしてほしい。
- 7 環境改善活動に対する重要性は理解できるが、手間になっていることも事実であり業務の中にうまく溶け込ませたい気持ちがある。
- 8 取り組んでいる企業担当者の横の繋がり、情報共有の場などがあるとありがたい。
- 9 同業他社も数多くあるが、南信州いいむす21への登録企業が増えないのは残念。入札時のポイント加点にもなるメリットをもっとPRして取組事業所を増やすべきだ。

## 訪問支援の担当者による 訪問支援しての「所感」

- 1 地元の企業が自社で法改正の内容を把握して自力で規制に沿った体制に改善することは難しい。
- 2 自社で環境法規制等法改正への対策が立てられるようにサポートできる仕組み作りができれば良い。
- 3 南信州いいむす21の取組みを含む継続的な事業活動を行う上で、「人材の確保」が大きなテーマである。
- 4 従業員の「やる気」や「やりがい」につながるマネジメントシステムへの取組みも重要なテーマである。
- 5 トップの明確なリーダーシップの発揮がないと取組みや活動の充実が難しい。
- 6 環境関連法令、条例の変更情報について研究会として情報提供できると良い。
- 7 安全データシート(SDS)の情報活用についての勉強会ができると良い。(特に消防法、安衛法、廃掃法、毒劇法)
- 8 事務所近隣や運搬中に緊急事態に遭遇した場合に役に立てるかもしれないAED設置など、地域にもできることを率先した対応に感心した。
- 9 多方面で地域を思い、地域のために貢献されていることを痛感し、本業の中で可能な環境活動を工夫して実施しているなど2015年版へ向けて良い事例と感じた。
- 10 これから社会で活躍する人材が環境マネジメントシステムに接する機会として南信州いいむす21の存在は大きい。
- 11 全従業員へのアンケートを吸い上げ、改善に活かされている点は大変参考になった。
- 12 「一斉行動週間」運動に全社員が参加し、環境に関する意識の高さに驚いた。
- 13 何より職場の整理整頓がされており作業がしやすい環境であると感じた。

【ご意見、お問合せ】、【配読解除】

福岡健志(多摩川精機株式会社) 研究会事務局

[takeshi-fukuoka@amagawa-sei-ki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@amagawa-sei-ki.co.jp)

小林梅昭(飯田市役所) 研究会事務局

[kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp)



## TDK庄内株式会社飯田工場 毎月4名の環境パトロール



日頃より大変お世話になっております。TDK庄内株式会社飯田工場、工場長の松井一幸と申します。弊社はTDK株式会社の子会社として1966年に創立され、電子部品の小型固定コイルの製造を担い約半世紀となります。2010年には経済環境の変化に伴い、山形県の関連会社と合併し、現在に至っております。小型固定コイルは、デジタルカメラや液晶モニター、TV・オーディオ関連、車ではカーナビ等、マルチメディア関連製品の内部部品としてご使用いただいております。この製品は、髪の毛よりも細い銅線を磁性体に巻き付け樹脂でパッケージングしており、高い技術を必要とします。



弊社では、エネルギー使用量の削減・廃棄物の削減・水の使用量削減等を重点課題として取り組んでおりますが、環境保全活動の取り組みを一部紹介させていただきます。

環境美化活動として、自分を含め係長以上と労使合同で工場周辺の環境パトロールを毎月4名程で16年続けています。始めた当初は水路を含むため、空缶、瓶、一般家庭ごみ、夕口の投げ捨て等数多くのごみがあり、敷地外周約600mを一周するとビニール袋が一杯になりました。しかし最近は回収するごみも大幅に少なくなり、地域の皆さんの意識が向上してきたと感じています。

今後も自分たちの意識向上と、地域の環境保全の傾向を確認するため活動を継続してまいります。

## 南信州いむす21 4事業所に登録証交付

地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いむす21」登録証の交付式が10月5日飯田市役所の市長室でありました。この日交付を受けたのは4事業所、中級更新の多摩川テクノクリエイション(株)、上級更新の(株)丸久 龍江工場、中級更新の飯田清掃(株)、上級新規の(有)P・A・Pアライです。これにより、登録事業所は50(初級23・中級15・上級7・ISO 14001南信州宣言5)。上級新規の(有)P・A・Pアライは2005年6月に審査機関による認証取得をして以来の運用をこの度「南信州いむす21」へと移しました。「南信州いむす21」がその受け皿となり得たことは嬉しいことです。

その環境改善活動は金額を定めロスコストの低減を取組目標に掲げる業務と一体となったものです。これからは書類など組織の規模に応じたより軽いより実質的なシステム運用へと自らが変わる必要があると感じました。2015版の規格改訂に合わせ研究会としても説明会や相談会等で支援していきます。



## 第2回 南信州いむす21 プロジェクト会議でチームに

第2回のプロジェクト会議が9月22日に9人の参加により行われました。「南信州いむす21」取り組みマニュアルを2018年1月までに改訂版に見直すことを目指しテーマ別の4つの検討チームに分かれて作業していくことになりました。

悩みながらのプロジェクト会議、今回は10月27日、検討チームでの結果を持ちより、作業を進めます。



## 2017秋の環境一斉行動週間 「歩こう動こうプラステン」も

- ◆期間 10月20日(金)～26日(木) 7日間
- ◆取組内容
  - ① ノーマイカー  
～移動手段を賢く選ぶ～
  - ② 歩こう動こうプラステン (+10分)
  - ③ タイヤ空気圧・車内荷物チェック
  - ④ 冷蔵庫の省エネ
- ◆報告 11月17日(金)
- ◆通知・様式・資料  
研究会のホームページに

研究会が地域内の事業所に呼びかけて取り組んでいる「環境一斉行動週間」を10月下旬の1週間に行うことになりました。取り組み依頼はメールのみですが51事業所5,399人の参加のありました夏の環境一斉行動より少しでも多くの拡がりとなりますよう皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

今回はノーマイカー等の省エネに「歩こう動こうプラステン(+10分)」という取り組みを初めて加えました。これは市保健課が進めている「今より1日10分多くからだを動かしましょう」というもの。環境をもう少し広くとらえようとする提案です。



国平均に比べ飯田市民は運動習慣が少ないそう。運動不足は喫煙・高血圧に次いで死亡リスク第3位。

ISO規格での環境の「定義」は次のとおりです。「大気、水、土地、天然資源、植物、動物、「人」及びそれらの相互関係を含む、組織の活動をとりまくもの。「今より1日10分多く」、無理せず自分のペースで自分の運動を始めてみませんか。11月17日(金)の報告期限、報告でどんな取り組みが、どんな反応が届くか、集約が今から楽しみです。

【ご意見、お問合せ】、【問い合わせ先】  
福岡健志(多摩川精機(株) 研究会事務局)  
[takeshi-fukuoka@amagawa-sei-ki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@amagawa-sei-ki.co.jp)  
小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局  
[kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp)



くらしに欠かせないエネルギーを  
お届けし、社会の発展に貢献します



中部電力株式会社 飯田営業所  
所長 松沢 茂

平素は、弊社事業への格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

エネルギー事業を取り巻く環境は、昨年の電力小売全面自由化に続き、本年4月からガス小売全面自由化がスタートするなど、大きな変化の渦の中にあります。まさに今、弊社は歴史的転換点に直面しており、「第二の創業期」を迎えています。変革への強い意志のもと、グループ丸となって、新たなビジネスモデルの構築と、それを支える事業基盤の強化を進めています。

私たちはいつの時代においても『地球環境に配慮した、良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けする』という「変わらぬ使命の完遂」と、「新たな価値の創出」を同時に達成することで、「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」をめざし、挑戦し続けていきます。そして、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまからの信頼と期待に応え、「くらしに欠かせないエネルギーをお届けし、社会の発展に貢献する」という企業理念を実現してまいります。今後とも、変わらぬご支援・ご愛顧のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

### 【安定供給に向けた取り組み】

出力変動が大きい再生可能エネルギーの導入が拡大するなかでも、飯田下伊那地域の安定供給に努め、つねに公衆保安の確保や設備保全などに万全を期すとともに、大規模災害が発生した場合においても、災害の影響を最小限にとどめつつ、早期復旧を実現し事業継続できるように全力で取り組んでまいります。

### 【環境保全の取り組み】

弊社は環境問題への取り組みをグループ全体の最重要課題のひとつと位置づけ、環境基本方針で定めた4つの柱に従い、具体的な行動目標としてアクションプランを策定し、環境経営を推進しています。

エネルギー産業に携わるものとして、環境経営を的確に実践するとともに、社員一人ひとりが自ら律して行動し、地球環境の保全に努め、持続的な社会の発展に貢献できるよう取り組んでまいります。

### <中部電力グループ環境基本方針>

- 1 低炭素社会の実現を目指します
- 2 自然との共生に努めます
- 3 循環型社会の実現を目指します
- 4 地域や世界との連携を強化します

### ◆ ISO研究会の取り組み

地球温暖化などの地球環境問題は、日常的な経済社会活動に起因し、社会全体での取り組みが必要であることはいうまでもありません。



研究会の取り組みである、地域版の環境ISO「南信州いいむす21」や、企業や団体、市民一体となった一斉行動など、広く一人ひとりがこの取り組みについて理解し自発的に取り組み、一方で、長く継続できるよう無理がなく、息の長い活動としていくことも重要であると思えます。



弊社も地域の良き企業市民として取り組んでまいります。研究会設立20周年という節目を迎えられ、益々のご発展を祈念申し上げます。

### 「ISO 14001 南信州宣言」審査 「相互内部監査」研究会参加事業所



当地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」はその仕組みをISO規格の2015年改訂を踏まえ毎月のプロジェクト会議で見直しています。「南信州いいむす21」4つのレベルの一番上は「ISO 14001 南信州宣言」、ISO規格への適合を「自己宣言について組織外部の人又はグループによる確認を求める」方法により実証するものです。私たち地域ぐるみ環境ISO研究会が「審査」し確認しています。

「ISO 14001 南信州宣言」にとり6事業所目になる新規登録審査をEMS審査員補資格を持つ2人の実務者で行いました。緊張感が強く伝わるJIS Q 9100やNadcap認証審査を控えた事業所、より効果的な運用という観点で審査しました。



研究会参加の飯田市役所の内部監査には「相互内部監査員」として外部から今年のべ32人が、研究会からも多く参加してくれました。本来なら内部の人間だけで行っている内部監査、それを研究会参加事業所間で実務者が相互に参加し合う「文化」が育ち広がっています。

多摩川精機(株)、オムロンオートモティブエレクトロニクス(株) 自社以外のシステムや運用を監査として臨み知ることはとても貴重な機会です。

研究会参加事業所の代表者によるメッセージで事業所紹介を引き続き行っていきます。研究会設立20周年、それぞれの事業所の地道な活動によって研究会活動が支えられていることをあらためて実感します。

【ご意見、お問合せ】、【問い合わせ先】

福岡健志(多摩川精機(株) 研究会事務局)

[takeshi-fukuoka@tanagawa-seiki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@tanagawa-seiki.co.jp)

小林輝昭(飯田市役所 研究会事務局)

[kobayashi.toshiaki@city.iid.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iid.nagano.jp)





## (株)八十二銀行飯田支店 環境活動＝企業の社会的責任



株式会社八十二銀行飯田支店、支店長の宮原博之でございます。平素は弊行をご利用頂きまして誠にありがとうございます。弊行は国内外に152(国外1)の店舗があり、ここ下伊那地区においては10店舗の支店がございます。飯田地域の発展及び長野県の発展のために今後とも皆様の役に立てよう尽力して参ります。

弊行では、平成11年3月に本店ビルにおいて地方銀行初のISO 14001認証を取得し、平成14年3月には国内全店に認証範囲を拡大致しました。弊行の環境に対する考え方、これまでの取り組みについてご紹介させていただきます。



### 1 八十二銀行の環境活動の考え方

豊かな自然環境に恵まれた長野県に基盤を置く弊行は、環境に配慮し、自然環境と共存しながら地域社会とともに発展することを目的に、従前より環境問題への取り組みを進めています。また、環境活動への取り組みは『企業の社会的責任(CSR)』の根幹と位置付け活動しています。

### 2 環境活動の3つの柱

#### (1) 銀行本来業務による環境保全活動

環境配慮型金融商品販売を通じてお客様の環境改善への取り組みを応援しています。{商品名等・内容}

- ①信州エコ・ボンド「山紫水明」…環境配慮企業向け私募債
- ②エコウェブ…環境経営を实践するお客様の事業資金等の融資
- ③マイカーローン<エコメリット>…低公害車購入時の金利優待
- ④住宅ローン…環境配慮型住宅購入時の金利優待
- ⑤八十二無通帳口座<e-リブレ>…通帳を発行しない、お口座による紙資源の節約

#### (2) 自らの環境負担低減活動

自らの省エネ、省資源に努め環境負荷低減とコスト抑制を図るために次の取り組みを行っています。

- ① 行用車の入替え  
ハイブリッドカー(H10)・天然ガス車(H16)・電気自動車(H23)の導入
- ② 設備の管理強化  
21年3月までに、支店24ヶ所、寮保養所9ヶ所の地下オイルタンクを全廃(油漏れによる土壌汚染を未然に防ぐ効果)
- ③ エコ通勤の徹底  
・職員のマイカー通勤を原則禁止  
・「エコ通勤優良事業所」認証登録  
・八十二銀行グループとして130事業所が「エコ通勤優良事業所」の認証登録  
→国土交通大臣表彰
- ④ ケールピズ・ウォームピズの実施
- ⑤ 古紙の回収、再生、利用  
(機密書類の溶解処理と再生利用)  
・1991年に銀行界で初めて機密文書のリサイクルシステムを構築(ニックン賞受賞)  
・年間400トン(H28年度)の機密文書リサイクルを行いトレットペーパー(弊行本店で使用)、ボックスティッシュ、ポットティッシュ(お客さまへの粗品)に再生し利用

#### (3) 地域貢献と環境教育の充実

弊行職員は、次の環境ボランティア活動を通じて地域貢献に努めています。

- ① 「八十二の森」活動  
・活動拠点…飯田市大平峠県民の森  
・契約先…飯田市四区財産区  
・契約年度…平成22年2月  
・実施内容…ササ刈り作業、間伐、除伐作業、夏焼山等の登山道の整備及び山頂にベンチ設置、遊歩道の橋補修。  
・参加人数…H29年度126人  
→下伊那地区の「八十二の森」活動が評価され、平成27年「下伊那山林協会長賞」を受賞致しました。



#### ② Kids' ISO(子どものための環境教育プログラム)の実施

- ・これまでに長野県内外の小学生約1,000名に対し、弊行独自にKids' ISOプログラムを実施
- ・平成20年からは長野県の「キッズISOプログラム事業」に協力し、ワークブック購入資金を支援

これらの取り組みの結果、弊行は日本経済新聞社「環境経営度調査」の企業ランキングで地方銀行界1位を3年連続獲得、環境省主催「環境・人づくり企業大賞2016」で優秀賞を受賞しました。これからも全行一丸となって環境保全のために積極的に取り組んでいきたいと思っております。

## 実務者会で事業所の近況報告 「フロン勉強会」環境創造研究



研究会のすべての参加事業所が集まるのは事業所代表者全体会と実務者会の2つ。11月2日(木)午後20人が参加して実務者会が行われました。「南信州いいむす21」プロジェクト会議の経過報告・進捗の確認、「南信州いいむす21」の審査状況、夏・秋の環境一斉行動週間の報告、「ぐるみ通信」での事業所の代表者のメッセージリレーなどの議題を終えた後、参加したすべての事業所から近況報告と意見交換を行いました。業種も規模も異なる28の事業所が参加する研究会です。

話題はというとISO 14001:2015への移行審査、品質と環境の統合審査、相互内部監査、中国の廃棄物輸入停止、働き方改革、禁煙など様々な活動や課題があるものです。



実務者会の事業として行われたのが名古屋の環境創造研究センター主催の「青空は誰のもの?～フロン対策と地球温暖化問題～」講演会。

中部大学中部高等学術研究所の福井弘道さんと原理史さんから、フロン問題を知る、フロン問題に向き合うという話を聴きました。紹介された「nullo school」、デジタルアースリアルタイムでの地球の美しい画像には驚きでした。パソコン上での「触れる地球」?の感動があります。

2017秋の環境一斉行動週間の報告が届き始めています。この取り組みの定着を実感します。「3日間冷蔵庫の電源を切った」そんな凄い取り組みの報告も。

【ご意見、お問合せ】、【問い合わせ】  
福岡健志(多摩川階機株) 研究会事務局  
[takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp)  
小林敏昭(飯田市沼所) 研究会事務局  
[kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp)



## 2017 秋の環境一斉行動週間 「各自工夫したこと」

研究会の呼びかけで定期的に行われています「環境一斉行動週間」。「2017秋」は10月20日(金)～26日(木)の7日間でした。

今回は次の4項目①ノーマイカー(賢い移動手段)②歩こう動こうプラステン(+10分)③タイヤ空気圧・車内荷物チェック④冷蔵庫の省エネ。常連に加え新しい事業所からも報告が届いています。最終的な集約・集計は研究会のホームページ掲載で報告します。

取り組み人数・回数の報告書に書かれた「各自工夫したこと」のあんな、こんなを紹介します。



### A ノーマイカー

- ・「エコドライブ10のすすめ」を意識して運転を行っています。
- ・最寄のスーパーまで普段は車で走っているが一斉行動週間中は徒歩で行くようにした。
- ・「急」の付く運転をしない。

- ・土日は車をなるべく使わずに歩くことを意識した。
- ・土日の休みの日は1日で外出する用事を済ませ、1日は車に乗らない日を作る。

※車に乗らずに歩いていると虹が見えたり、たまたま出会った人にパブリカをもらったり、山の紅葉に気付いたり、ねこに出会えたり、「幸せだな」と思えることが増えました。

各自に配って記入してもらった「取り組みカレンダー」に今回は「エコドライブ10のすすめ」を説明として載せ参考にしてもらいました。

- ①ふんわりアクセル②加速・減速の少ない運転 ③減速時は早めにアクセルを離す ④エアコンの適切な使用 ⑤ムダなアイドリングはやめる ⑥余裕をもって出発する ⑨走行の妨げになる駐車をやめる ⑩燃費を把握  
※⑦・⑧は取組Cで

### B 歩こう動こう プラステン(+10分)

- ・片足立ちしながら歯磨き。
  - ・テレビCM中はストレッチの時間に決めた。
  - ・駐車場は遠くに停めて少しでも多く歩く。
  - ・仕事の休憩時間などにストレッチを行っています。
  - ・昼休み、近くのATMを使わず遠くの支店まで歩いて行った。
  - ・東京出張時に一駅分歩いた。
- ※「歩こう動こうプラステン」は初めて知りましたが、とても良い取り組みだと思いました。  
※この運動を機会に「歩こう動こうプラステン」を始められる方がいました。  
※「歩こう動こうプラステン」を今後も続けていきます。  
※自分の健康のためにも運動を取り入れる必要性を感じました。10分余分に歩くにも意識しないとなかなかできないものです。

### C タイヤ空気圧 ・車内荷物チェック

- ・月1回空気圧のチェックをすると決めている。
- ・この機会に車内を掃除しました。
- ・積載荷物は運転席の対象位置に置き、車内での重量の偏りがないようにしています。

### D 冷蔵庫の省エネ

- ・冷蔵庫の中には目の届かない位置より奥には物を入れない。
- ・買い物前に買う物をリストを作り、無駄な買い物をしていないようにした。
- ・週末に冷蔵庫が空になるように心がけている。
- ・職場の共有の冷蔵庫の中身で持ち主が不明の飲物、食べ物をすべて処分した。
- ・例年行なっているのに、冷蔵庫の省エネ取り組みに慣れてきた。



### ご意見等

- ※事業所の全従業員が取り組むことができ、また普段の生活を見直すよい機会となりました。
- ※今回の取り組み期間だけでなく、今後も環境のため、健康のため、意識して取り組みをいきたい。
- ※職員への意識付けを目的に職場のミーティング(朝礼等)で話題とした。
- ※日常的にエコを意識して活動しているため新たな活動が減ってきた。
- ※取組みがマンネリ化していて、実質的なCO2削減につながっていない気がします。
- ※紙による集約方法はエコでない。
- A・B・C・D別々の取り組みはすべて関連してくるものですね。もっと多くの事業所で取り組めるようまだまだ工夫が必要です。

### 不要カレンダー・手帳の募集

募集期間：12月21日(木)～26日(火)  
持込場所：八十二銀行飯田支店  
飯田市役所C棟3階 C314

### 不要カレンダー・手帳の プレゼント会

日時：12月27日(水) 28日(木)  
9:00～12:00  
場所：八十二銀行飯田支店  
飯田市役所C棟1階 市民協同会議室

今年も長野県環境保全協会飯田支部と協働して「カレンダー・手帳のプレゼント会」を行います。納入業者等から頂いたカレンダー・手帳で不要になったものを提供いただき、一般市民に活用していただきます。

研究会のすべての参加事業所が集まるのは事業所代表者全体会と実務者会の2つ。実務者会は11月2日(木)に行われましたが12月13日には事業所代表者全体会が開催されます。プロジェクト会議で進められている「南信州いむす21」のシステム改訂など報告議論されます。

【ご意見、お問合せ】、【配信解除】  
福岡健志(多摩川精機株式会社) 研究会事務局  
[takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp](mailto:takeshi-fukuoka@amagawa-seiki.co.jp)  
小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局  
[kobayashi.toshiaki@ci.ty.iida.nagano.jp](mailto:kobayashi.toshiaki@ci.ty.iida.nagano.jp)